## 「認知症サポーター養成講座」実施報告書

八戸市 受付No.

提出日	令和 7 年	4	月	15	日		開催日	1	令和	7	年	6	月	30	日	
提出者	所属: 〇〇居宅介護支援事業所 氏名: 八戸 太郎 <sub>電話番号:</sub> 00-0000															
受講対象者(団体・グループ名等)	ABC銀行 DE支店 職員						受講者数 (再受講者は含まない)			35 人						
開催方法	☑ 集合型 □ オンライン型 使用アカウント:															
区分	□ 住民 □ 企業・職域団体 □ 学校 □ 行政 □ 一致															
サホ° ーターの	※初受講者は、再受講者はへ、それぞれの人数を						人数をん	入力してください。								
年代内訳	10代 20代 30代		40	)代	50代		60代 7		70f	0代以上		合計				
女性	小学生で10歳未満の方も		4		6		6	2	1	2	-	17	(4)			
男性	10代としてください。 年代不明の方も、おおよその年			5		8	1	4		1		-	18	(1)		
合計 (再受講者は含まない)	代でどこかに含んでください。			ç	)	1	4	1	0	2		<b>*</b> 35		(5)		
(100,000,000,000,000,000,000,000,000,000	ID							氏名								
担当 キャラバン・メイト	青森	_	99	_	9999		)	八戸	支郎 大郎							
	青森	_	88	_	8	8888		田向	向 花子							
				_												
		<u> </u>		<u> </u>								//				
	内容 かがこととして考えてみとう(翌知庁サポーターとけ)						17	時間配分 17:00 ~ 17:10 ( 10 分)								
講座の構成	○ わがこととして考えてみよう(認知症サポーターとは) ○ 翌年10年 5 田留する								~		:10	(	10	分) 分)		
	<ul><li>○ 認知症を理解する</li><li>○ 認知症とともに(DVD・グループワーク)</li></ul>								$17:10 \sim 17$ $17:45 \sim 18$				(	35 30	分)	
	○ 医療機関・相談先の紹介							:15	~	18:			10	分)		
	○ まとめ							:25	~		:30		5	分)		
	テキスト				DVI	<u> </u>		10.			10,		<u>、</u> 反却类			
使用教材	<ul><li>✓ 標準教材</li><li>□ キャンペーンDVD</li><li>□ 小学生用</li><li>□ 中学生用</li><li>□ 交通機関編</li></ul>							VD(桐	) (標準 🗌 小学生向け				・テキスト <b>5</b> 冊			
									<ul><li>□ 訪問業務編</li><li>□ マンション管理編</li></ul>			・受講	者証	5	枚	
	□ 配布資料(独自作成) □ □ 金融機関編 □ スーパーマーケット						レ アット編				·DV	)	1	枚		
講座の写真																
担当キャラバン・メイトとしての感想	グループワークでは、窓口で遭遇しそうな事例を提示したことでイメージしやすくなり、理解が															
	深まった等という感想があった。															
	受講者からの感想の一部のほか、一連の流れを通しての 改善点や意見、感じたことなどを記載して下さい。															
1. 報告書は、講座終了後2週間以内に事務局へ提出してください。																

2. 報告書は必ず計画書と対応するようにご記入下さい。記入に不備がある場合は、再度ご記入をお願いする場合もございます。

連絡日

	八戸市 高齢福祉課 介護予防センター (八戸市総合保健センター2F)								
事務局	TEL	0178-38-0726	FAX	0178-38-0739					
	メールアドレス	kaigoyobou@city.hachinohe.aomori.jp							
《事務局記入欄》									
高齢者支援センター		計画	画No.						

備考